

講義コード	11C0121700	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員	小畑 二郎	開講期	第1期
科目名	金融史1 / 特殊講義(金融史A)					小畑 二郎		第1期	
履修前提条件						備考			
授業の目的	「金融理論は金融史と一体である」というヒックスの教えに従って、この授業では、金融に関連する標準的な歴史について考察する。金融の歴史は、産業発展の必要に対して試行錯誤によってこたえていく過程である。そのような観点から、これまでの金融の歴史を①貨幣信用経済、②投資金融経済の2つの段階に区分し、それぞれの段階の特徴について検討する。問題、理論、政策、そして政策の帰結または新たな問題の提出について考えていく。								
到達目標	金融に関する基礎的な概念について、それらの発生の論理に従って理解する。								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	授業中に指示する参考文献を読んでもらうこと。 上記に示した授業外の学修は、60時間以上を目安に行うこと。								
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>【第1回】金融史の理論の課題</li> <li>【第2回】金融史の3つの段階区分</li> <li>【第3回】ヒックス『経済史の理論』の検討</li> <li>【第4回】ヒックス『資本と時間』の要点</li> <li>【第5回】貨幣信用経済の前史①ルネサンスから大航海時代までの貨幣金融</li> <li>【第6回】貨幣信用経済の前史②重商主義の貨幣政策</li> <li>【第7回】産業革命と金融</li> <li>【第8回】スミスリカードの貨幣信用理論</li> <li>【第9回】日本金融史への応用①江戸時代の商業発展と金融</li> <li>【第10回】日本金融史への応用②明治初期の金融論争：大隈対松方</li> <li>【第11回】日本金融史への応用③日本銀行の設立と日本経済の出發</li> <li>【第12回】日本金融史への応用④国際金本位制と日本経済</li> <li>【第13回】貨幣信用の理論：商業信用と銀行信用</li> <li>【第14回】貨幣信用の理論：イギリス経済と1844年の銀行法</li> <li>【第15回】まとめ：貨幣信用経済の特徴</li> </ul>								
成績評価の方法	平常点と期末試験による。								
フィードバックの内容									
教科書	『経済史の理論』ヒックス（講談社学術文庫）、『ヒックスと時間』小畑二郎（慶応義塾大学出版会）2011								
指定図書									
参考書									
教員からのお知らせ	参考文献については、授業中に指示するものを病んできてほしい。ノートが重要ですので、しっかり取ってください。								
オフィスアワー	木曜日の午後1時～5時								
その他									